



西村証券

チーフストラテジスト
門司総一郎の

ウィークリーレポート

2020年
4月7日
発行

第26回 臨時号「コロナ・ショックが一旦収束へ」

～ 株価上昇を見込む5つの理由 ～

初めに

4月6日の日経平均終値は、18,576.30円(前日比756.11円)の大幅高になりました。この日本株の上昇は一時的なものではなく、しばらく続くと考えています。そう考える理由は5つありますが今回は、その5つの理由について説明します。

欧米の状況に改善の兆し

第1の理由は、欧米で新型コロナウイルス感染症(COVID-19)以下「新型コロナ」、の被害状況に改善が見られることです。米国では被害が最も深刻なニューヨーク州で最近死者数が減少しました。同州のクオモ知事は、「我々は感染拡大のピークのすぐ近くか、すでに頭打ちした安定期にいるかもしれない。」との認識を示したことが報じられています。

また、前回の当レポート「新型コロナ対策と株式市場」では、「イタリアとスペインで新たな感染者の増加ペースが減速した」と述べましたが、その後、死者数にも減少が見られている模様です。このように欧州ではイタリア、スペイン、米国では、ニューヨーク州など新型コロナの被害が大きかった地域で改善の兆しが出てきたことが、株価上昇を見込む第1の理由です。

心理的影響効果が期待される緊急事態宣言

2番目の理由は、緊急事態宣言の発令がほぼ確実になったことです。欧米のような厳しい外出規制は伴わない為、人々の暮らしはそれほど変わりませんが、それでも緊張感を強める心理的效果はあると思います。

また、トランプ氏が楽観論を撤回して非常事態宣言を行った局面や、東京五輪延期決定の時を振り返ってみると、株式市場は新型コロナに対する厳しい措置を歓迎する傾向があります。こうしたことから、緊急事態宣言は株式市場にプラスと考えています。

経済対策と金融政策

各国が大型の経済対策を打ち出す中、日本では策定が遅れており、やきもきしていた方もいらっしゃると思いますが、そうした方も今回の事業規模108兆円の大型経済対策で一安心となるでしょう。この大規模な経済対策が、株高を見込む3番目の理由です。

また、金融政策は既に各国で発動されており、世界全体としてみれば金余りの状況です。これまで投資家が新型コロナを警戒してリスクを取らなかった為、金融政策は効果を発揮することができませんでしたが、新型コロナ対策が進んだことから、今後は投資家がリスクをとる様になり、資金が株式市場に向かうことも増えると考えています。この遅れてくる金融政策の効果が株高の4番目の理由です。

売り手不在

最後は需給です。最近の激しい動きの中で、株式を売却してそのまま、ほとんど持っていないという方は、多いと思います。またリスクハバリティのような株価上昇時に株式を買い、下落時に売るような手法を採用している投資家も、株式はほとんど持っていないのではないのでしょうか。このように考えると現在の株式市場は「売り手不在」であり、需給面からは上昇し易いと言えそうですが、これが株高を見込む5番目の理由です。

西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES CO., LTD.
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等のご遠慮ください。